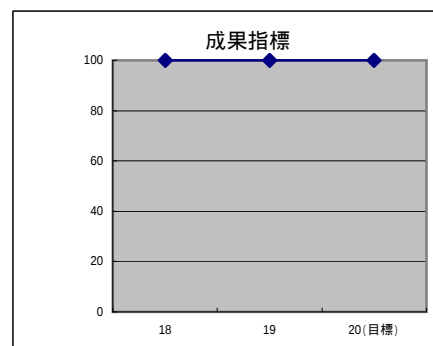
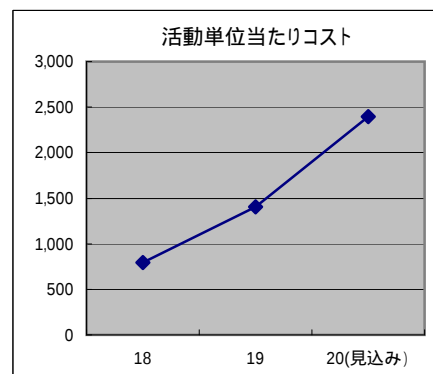


事務事業名		違反屋外広告物追放登録員支援事業 (環境美化活動の推進と美化意識の向上)		予算科目	会計	1	一般会計
					款	4	衛生費
					項	1	保健衛生費
					目	7	環境美化対策費
					事業	1	環境美化対策
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	1	安全・安心、快適で住みやすいまち				
	施策(節)	5	環境美化				
	施策の方向	(3)	環境美化活動の推進と美化意識の向上	作成部署 生活環境部環境衛生課			
関連する計画等				連絡先	072 - 958 - 1111 内線 2830		
事業の目的	対象(誰を・何を)						
	各地区から推薦を受けた登録員						
	意図(どういう状態にしたいのか)						
事業の内容	官民一体で違反屋外広告物を追放する登録員の街頭指導や簡易除却活動を支援する。						
	地域の公共の場に散乱する屋外広告物の除去指導等を行う登録員に対し支援を行うことで、屋外広告物掲示のモラルの向上と都市景観を保全し、更には交通安全の確保に努める。なお簡易除却された看板類は市で回収・処理し、行政と地域が一体となり環境美化に努めている。支援内容は、登録事務・除去用具支給・保険加入等である。						
根拠法令等		羽曳野市環境美化条例・羽曳野市違反屋外広告物追放登録員設置要綱					
事業開始時期		☐ 昭和 ☒ 平成 12 年 月開始 ☐ 明確にはわからない 終了年度 平成 年度					
事業開始時からの状況変化		登録状況は当初の250名程度から現在は300名を超えている状況であるが、簡易除却の実績は、当初8千点を超える除却数が、現在は4千数百点と減っており、制度が定着してきたと思われる。					
市民や議会の要望							
実施手法		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()					
委託先		☐ 外郭団体委託	名称	委託内容			
		☐ 民間委託					

区 分		18年度	19年度	20年度
		(実績)	(実績)	(見込み)
事業費【1】 (千円)		154	136	238
人件費【2】 (千円)		3,192	3,444	3,360
職員数	正規職員	0.38 人	0.41 人	0.40 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		3,346	3,580	3,598
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他 (手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	3,346	3,580	3,598
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		18年度	19年度	20年度(目標)
違法看板撤去枚数 枚		4,199	2,542	1,500
活動単位当たりコスト (【A】 / 【B】)		797 円	1,408 円	2,399 円
市民1人当たりコスト (【A】 / 人口)		28 円	30 円	30 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名	指標設定の考え方	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	実施率(%)	支援を行うことにより、除却指導等が実施できた割合	100	100	100
	(式)		100	100	100.0%
	(式)				達成率(%)

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	地域の環境保全を図るうえでも必要な事業である。
	○	○		○							

視点	分析のためのチェック点			分析・評価の説明		
	はい	いいえ	該当なし			
妥当性	市民ニーズが高い			☒	☐	☐
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない			☒	☐	☐
	社会情勢の変化に対応している			☒	☐	☐
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない			☒	☐	☐
	国・府の事業と重複していない			☒	☐	☐
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい			☒	☐	☐
	緊急性が認められる			☒	☐	☐
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)			☒	☐	☐
	受益者負担の割合は適当である			☐	☐	☒
	人員を削減する余地がない			☒	☐	☐
	事業費を削減する余地がない			☒	☐	☐
	簡略化できる方法や手段がない			☒	☐	☐
	市の他事業と重複していない			☒	☐	☐
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない			☒	☐	☐
有効性	上位の施策(目的)が明確である			☒	☐	☐
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である			☒	☐	☐
	成果を向上させる余地がない			☒	☐	☐
	市民の視点にたってサービスが提供されている			☒	☐	☐
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している			☒	☐	☐
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている			☒	☐	☐
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している			☒	☐	☐
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている			☒	☐	☐
達成度	成果指標の目標値は適正である			☒	☐	☐
	成果指標の実績値は目標値以上である			☒	☐	☐
	成果指標は前年度より向上している			☒	☐	☐

担当 部局 評価	総合評価					
	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了					
	評価の理由					
	登録員の活動は活発で、街頭に長期掲出される違法看板類も少なくなる傾向が見られる。					
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など) 登録員の声を聞きながら事業を進めていく。					